

周防大島中学校 研修通信

vol.13

PBS の研修について

2月9日(月)宮木先生に再び、お越しいただき2回目の PBS(ポジティブ行動支援)の研修会を行いました。今回は、マトリクスの作成にテーマを絞っての研修ということで、より実践的な内容を学ぶことができました。これまで、宮木先生が関わられた学校のマトリクスを資料で拝見し、学校ごとに多種多様な内容となっており、大変参考になりました。それぞれの学校には、学校特有の課題があると思います。宮木先生は、講義の中でマトリクス作成のプロセスが大切だとおっしゃっていました。周防中では、生徒会が中心となってマトリクスを作成しますが、生徒たちが周防中の課題をしっかりと把握し、理想とする学校の姿を想像しつつ、協力しながら作り上げていってほしいなと思います。

2月14日(土)宮木先生が主催するやまぐちポジティブ行動支援実践報告会にオンラインで参加しました。今回の報告会では、日本における PBS の第一人者である熊本大学大学院の半田健准教授による基調講演と山口県の中で先進的に SWPBS を進める黒石小学校、上宇部中学校、田布施西小学校の実践報告が行われました。

半田先生の講演では、宮崎県の SWPBS の実践についての内容が驚きでした。宮崎県では、県の教育振興基本計画に生徒指導の柱として、SWPBSを推進することが明記されているそうです。県教育委員会の推進チームのもと、計画的に県内全ての小中学校にSWPBSを普及しようとしています。PBSが学校の当たり前となる日が来るのも近いのかもしれない。

3校の実践報告では、PBSを教職員が一丸となり、チームとして取り組んでいくことが大切だということがよくわかりました。個で動くのではなく、組織として、みなが同じベクトルに向かって進んでいくことが、生徒にとっての良い学校環境につながるとともに、教員の指導のしやすさにもつながってくるのではないかと思います。報告会の資料は全て、共有フォルダの研修の中に入れておりますので、興味があればぜひご覧ください。

起業家教育 No.1 ベーカリー

2月12日(木)起業家教育として、1年と2年を対象にNo.1ベーカリー活用した授業を行いました。まず、吉村さんがニーズについての説明をされた後、お客様シートでパンを購入する状況を考え、仕入れ、売買と活動に入りました。初めての体験で、ルールややり方が伝わりづらく、時間が足りない部分はありませんでしたが、生徒たちは楽しそうに活動を行っていました。やり方を改善して卒業式後にまた挑戦してみたいと思います。生徒たちの感想を以下に載せておきます。

- ・今回のゲームを通して、私は「ニーズ(必要性)」を理解し、お客様の意見を使って「どうしたら商品が売れるか考える」という人生の中で大切なこと・力を学べたと思います。
- ・少しの情報からいろいろなことを考えて動くことは、とても難しかった。その中で、チームで協力して予測をたてたり、役割を分けたりして動くことが大切だと思った。
- ・No.1ベーカリーでお店を経営している人たちの大変さがよくわかった。